

中学生ワークショップの結果概要

- 1 実施日 令和元年10月27日（日） 13時～16時30分
- 2 会場 福島テルサ
- 3 参加者 中学生15名
- 4 テーマ 「将来も住みたい（住みたい）と思う福島県の将来の姿」
- 5 内容 総合計画の意味や本県の現状について説明を受けた後、3グループに分かれワークショップを行い、テーマに対する提言をとりまとめて発表を行った。
- 6 提言内容（将来の姿）
 - (1) グループ1
 - ・いろいろな人が来てくれる福島県
 - ・安全な暮らしができる福島県
 - ・子育てがしやすい環境がある福島県
 - ・多くの人に伝え・伝わる福島県
 - (2) グループ2
 - ・他県に福島県のことを知ってもらい、もっと活気のある県
 - (3) グループ3
 - ・交流が広がり理解が深まる
 - ・教育環境が向上し子育てがしやすくなる
 - ・元気な高齢者が活躍している
 - ・福島ならではの活動
- 7 主な発言
 - ・地域ごとのつながりを復活させたい。
 - ・医療サービスを確保して元気な高齢者を増やす。
 - ・日本酒や桃など福島ならではの発信が大切。
 - ・世代を超えて交流できる福島にしたい。
 - ・私たちが福島県をより良くしていきたい。 など

(グループワーク)



(発表)

